

函 企 画

令和6年(2024年)7月4日

報道機関各位

函館市企画部移住・人口減担当課長

函館市移住サポーター委嘱状交付式の報道について(依頼)

このことについて、下記のとおり開催しますので、取材および報道方よろしく
お願いいたします。

記

- 日 時 令和6年7月8日(月) 午前10時00分から
- 場 所 市役所本庁舎6階 市長会議室
- 委嘱の目的
移住検討者や定住者からの移住・定住に関する相談対応等を通して、本市への
移住・定住を促進するため。
- 移住サポーター(4名)
(1) 田胡 直子(たご なおこ)氏
(2) 津熊 智江(つくま ともえ)氏
(3) 北條 壮史(ほうじょう そうし)氏
(4) 八木野 創太(やぎの そうた)氏
※経歴等は別紙のとおり
- 委嘱期間
令和6年(2024年)7月8日から令和8年(2026年)3月31日まで

函館市企画部移住・人口減担当
担当：松尾
電話：21-3688 FAX：23-7604
E-mail：iju@city.hakodate.hokkaido.jp

函館市移住サポーターについて

1 活動内容

- (1) 本市に移住を検討している者の移住や本市に移住した者の定住に関する相談対応
- (2) 移住および定住を促進するために必要な情報の発信
- (3) 移住および定住に関連するイベント等への協力
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な活動

具体的には、移住検討者・移住者からの相談対応，SNS等による移住に関する情報発信，移住検討者・移住者が参加する交流会や移住検討者向けのセミナーへの参加など

2 委嘱期間

令和6年7月8日から令和8年3月31日まで（再任可）

3 サポーター（五十音順・敬称略）

- (1) 田胡 直子（たご なおこ）

群馬県出身



- 令和5年12月に本市へ移住
- 移住前は観光バスガイドなどに長く従事
- 南茅部地域おこし協力隊として活動中

- (2) 津熊 智江（つくま ともえ）

広島県出身



- 令和元年4月に本市へ移住
- アメリカ合衆国など海外在住を経て本市へ移住
- 伝統的建造物「古稀庵」を取得。
道内作家による展示会などを開催

- (3) 北條 壮史（ほうじょう そうし）

神奈川県出身



- 令和5年2月に本市へ移住
- 移住前は山岳・水難救助隊（神奈川県警）に従事
- ジビエを取扱う「熊鹿庁」代表
- まちおこしグループ「RISE MAN」代表

- (4) 八木野 創太（やぎの そうた）

新潟県出身



- 令和元年に本市へ移住
- 移住前は書道用品店に勤務
- 不動産業・宿泊業・飲食業などに従事し、
今後に向けてギャラリー開設を計画